

別棟

近衛文麿が住み始めた後の昭和13(1938)年に増築されました。近衛の長男・文隆の書斎(10畳)や妻・千代子の部屋(6畳)があり、屋根裏に残されていた棟札には、「当主 近衛文隆」と記されています。

近衛文隆は昭和15(1940)年に出征し、終戦後はシベリアに抑留され同地で死亡します。シベリアから家族に宛てた手紙には、帰国後は荻外荘に戻りたい旨が書かれていました。



別棟増築の様子を伝える新聞記事
昭和13年4月15日／朝日新聞



別棟棟札裏面



別棟(復原後)